

特殊報第1号

各関係機関団体の長  
各病害虫防除員  
農業資材販売等関係者 } 殿

福岡県病害虫防除所長

平成21年度病害虫発生予察特殊報第1号について

このことについて、病害虫発生予察特殊報第1号を発表したので送付します。

- 1 (1) 病害虫名 イエシロアリ : *Coptotermes formosanus*  
(2) 被害作物 バレイショ  
(3) 発生地域 福津市
- 2 (1) 病害虫名 ヤマトシロアリ : *Reticulitermes speratus*  
(2) 被害作物 カブ  
(3) 発生地域 朝倉市

3 特殊報の内容

(1) 発生確認の経緯

平成21年5月下旬、福津市でバレイショ塊茎にシロアリが食入しているのが確認された(図1-2、図2-2)。同ほ場でバレイショを加害しているシロアリを採集し、山口大学竹松葉子博士に同定を依頼したところ、イエシロアリであることが確認された。

また、同年6月中旬、朝倉市でカブ根部にシロアリが食入しているのが確認された(図1-3、図2-3)。同様に同定を依頼したところ、ヤマトシロアリであることが確認された。

一般に、シロアリの種類を同定するには、被害部位から兵アリを採取して頭部の形で見分ける。

(2) 形態および生態

ア イエシロアリ

本種はシロアリ目ミゾガシラシロアリ科に属する。

成虫は体長が有翅虫で8mm内外、兵アリで4.5~6.5mm、職アリで5mm内外、女王は30mm内外(図1-1)。体色は、有翅虫は頭部は暗褐色で他は黄褐色、兵アリは頭部は淡褐色で他は乳白色、職アリは乳白色である。

女王・王、副女王、副王、職アリ、兵アリなど階級があり、建物や地中に加工した大きな塊状の巣をつくり、そこから蟻道をのばして周辺の建造物や木材などを加害する。有翅虫は走光性があるので、灯火に集まる。また、水分を運ぶ能力が優れており、加害範囲は100mになることもある。

## イ ヤマトシロアリ

本種はシロアリ目ミゾガシラシロアリ科に属する。

イエシロアリよりやや小型で、成虫は体長が有翅虫で4.5~7.5mm、兵アリで3.5~6mm、職アリで4mm内外、女王は15mm内外(図2-1)。体色は、有翅虫は頭部は暗褐色か黒褐色で前胸背板部のみ黄色、兵アリは頭部は淡褐色で先端に向かって濃色で他は乳白色、職アリは乳白色で頭部は黄白、大顎内側は黒褐色。イエシロアリと同様に階級がある。寒さには比較的強いが乾燥に弱いので、常に湿った木材や土中で生活している。巣は加害場所を兼ねていて特別に加工した巣は作らない。有翅虫は走光性がないので、電灯に集まることはない。

## (3) 分布

### ア イエシロアリ

中国、台湾に広く分布し、日本では神奈川県以西の海岸線に沿った温暖な地域と、千葉県の一部のほか、南西諸島、伊豆諸島、小笠原諸島に分布する。

### イ ヤマトシロアリ

本種は現在、北海道南部を北限としてトカラ列島以北に分布している。我が国において最もふつうにみられるシロアリである。

## (4) 被害

シロアリは、食材性であり建築物の木材が最大の被害をうける。そのほか木柱、まくらぎなど木材を材料とするもの、農作物、紙類、繊維類、皮革類、生物の死骸、シロアリの脱皮殻や孵化後の卵殻、排泄物などもしばしば食べられる。また、プラスチック、ゴム類、コンクリートや煉瓦、金属でも比較的軟らかい鉛や薄い板などはしばしば被害を受ける。

農作物ではイエシロアリがサトウキビ、トウモロコシ、サツマイモ、ミカンへの、ヤマトシロアリはサトウキビ、チャへの加害事例があるとされている。

## (5) 防除対策

シロアリに適用のある農薬はない。

営巣場所となる切り株や切り枝を除去する。

## (6) 参考資料

「ハウスマカンのイエシロアリ被害について」九州病害虫研究会報第26巻(1980)

「日本農業害虫大事典」全国農村教育協会

「農林有害動物・昆虫名鑑、増補改訂版」日本応用動物昆虫学会編

「シロアリと防除対策」社団法人日本しろあり対策協会



図1-1 イエシロアリ  
兵アリ(左)と職アリ(右)



図2-1 ヤマトシロアリ  
兵アリ(左)と職アリ(右)  
(図1-1、図2-1：(独)森林総合研究所提供)



図1-2 バレイショへの寄生



図2-2 カブへの寄生

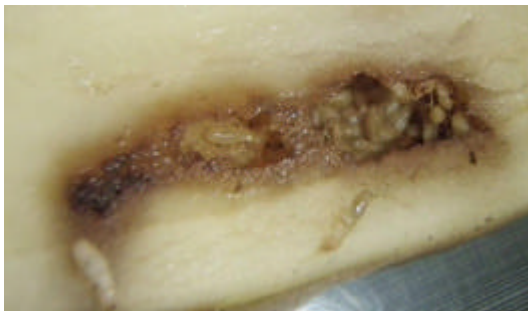


図1-3 バレイショ内部の食害



図2-3 カブ内部の食害